

令和5年度 青果物販売情勢について

令和5年8月3日（木）現在

【 果 樹 】

「もも」

出荷量は福島＞山梨＞山形となっており、福島県産が中心の入荷となっている。量も多いためやや荷動きは鈍いが停滞するような状況や雰囲気はなく相場は保合大勢である。

単価：（あかつき）特秀 15玉 3,600円-3,300円 18玉 3,300-3,300円

（まどか）特秀 15玉 3,500円-3,200円 18玉 3,200-3,000円

【 野 菜 】

「きゅうり」

東北各県の最大ピークを見込んでいたが猛暑が続き成り疲れ等により山は小さく相場は保合で経過。今後、数量の回復は見込まれるが各産地減少傾向見込みのため相場は強含みの見通しも盆休みに向け、慎重な販売となる見通し。

単価：5kg A品 1,800-1,500円

「ミニトマト」

気温上昇から入荷量が増量となり2L品は荷動き鈍く下げ、L・Mは弱めながらの販売となった。今後も潤沢な入荷が見込まれピークとなる見込みから相場を下げ売り場確保を促す販売となる見通し。

単価：200g パック AM 140-120円

「いんげん」

群馬・青森産は増加したが福島県産は減少し、荷動きが回復傾向にあったため相場はジリ上げとなった。今後も減少が続き引き合いは強くなる見込みも逼迫するほどではないため相場はジリ上げの見通し。

単価：2kg 箱 A 2,500-2,000円

J A ふ く し ま 未 来
営 農 経 済 部 園 芸 課